

平成23年県民意識調査結果報告書

(抜粋)

平成23年10月

宮 城 県

平成23年県民意識調査結果報告書

目次

1 概要

I 調査の趣旨	概- 1
II 調査の概要	概- 1
III 調査結果の概要	概- 2
IV 参考資料	概-23

2 調査分析結果

2-1 回答者の属性

2-1-1	性別	1
2-1-2	年齢	2
2-1-3	居住圏域	3
2-1-4	職業	4
2-1-5	業種	5
2-1-6	家族人数	6
2-1-7	家族構成	7
2-1-8	居住年数	8

2-2 各取組の調査分析結果

取組1	「地域経済を力強くけん引するものづくり産業（製造業）の振興」	9
取組2	「産学官の連携による高度技術産業の集積促進」	21
取組3	「豊かな農林水産資源と結びついた食品製造業の振興」	33
取組4	「高付加価値型サービス産業・情報産業及び地域商業の振興」	45
取組5	「地域が潤う、訪れてよしの観光王国みやぎの実現」	57
取組6	「競争力ある農林水産業への転換」	69
取組7	「地産地消や食育を通じた需要の創出と食の安全安心の確保」	81
取組8	「県内企業のグローバルビジネスの推進と外資系企業の立地促進」	93
取組9	「自律的に発展できる経済システム構築に向けた広域経済圏の形成」	105
取組10	「産業活動の基礎となる人材の育成・確保」	117
取組11	「経営力の向上と経営基盤の強化」	129
取組12	「宮城の飛躍を支える産業基盤の整備」	141

取組 1 3	「次代を担う子どもを安心して生み育てることができる環境づくり」	153
取組 1 4	「家庭・地域・学校の協働による子どもの健全な育成」	165
取組 1 5	「着実な学力向上と希望する進路の実現」	177
取組 1 6	「豊かな心と健やかな体の育成」	189
取組 1 7	「児童生徒や地域のニーズに応じた特色ある教育環境づくり」	201
取組 1 8	「多様な就業機会や就業環境の創出」	213
取組 1 9	「安心できる地域医療の充実」	225
取組 2 0	「生涯を豊かに暮らすための健康づくり」	237
取組 2 1	「高齢者が元気に安心して暮らせる環境づくり」	249
取組 2 2	「障害があっても安心して生活できる地域社会の実現」	261
取組 2 3	「生涯学習社会の確立とスポーツ・文化芸術の振興」	273
取組 2 4	「コンパクトで機能的なまちづくりと地域生活の充実」	285
取組 2 5	「安全で安心なまちづくり」	297
取組 2 6	「外国人も活躍できる地域づくり」	309
取組 2 7	「環境に配慮した社会経済システムの構築と地域環境保全への貢献」	321
取組 2 8	「廃棄物等の 3 R（発生抑制・再使用・再生利用）と適正処理の推進」	333
取組 2 9	「豊かな自然環境，生活環境の保全」	345
取組 3 0	「住民参画型の社会資本整備や良好な景観の形成」	357
取組 3 1	「宮城県沖地震に備えた施設整備や情報ネットワークの充実」	369
取組 3 2	「洪水や土砂災害などの大規模自然災害対策の推進」	381
取組 3 3	「地域ぐるみの防災体制の充実」	393

2-3 特定項目（テーマ）の調査分析結果

テーマ 1	地産地消について	406
テーマ 2	宮城の治安について	416
テーマ 3	暮らしと環境について	426
テーマ 4	富県宮城の実現について	434

2-4 調査に対する評価の調査分析結果

2-4-1	設問の量	443
2-4-2	文章説明のわかりやすさ	444
2-4-3	文字の量	445
2-4-4	記入方法のわかりやすさ	446
2-4-5	回答に要した時間	447
2-4-6	さまざまな取組についての理解の深まり	448
2-4-7	県民の意見を県政に反映させる方法として適切か	449

取組 2.6 外国人も活躍できる地域づくり



取組概要

日本人と外国人等の上に立ちはだかる「意識の壁」、「言葉の壁」、「生活の壁」の解消を図るため、啓発、多言語化支援、学習支援、家族サポート、活躍の支援を行い、国籍や民族等の異なる人々が、互いに文化的背景等の違いを認め、人権を尊重し、地域社会の対等な構成員として共に生きる「多文化共生社会」の形成を目指します。

平成22年度の主な取組

- 外国人県民等を受け入れる地域住民等に多文化共生に関する理解を深めてもらい、多文化共生社会の形成に必要な適切な役割分担と協働を推進するため、シンポジウムを開催しています。
[成果等] シンポジウム開催回数 2回予定(参加見込人数 100人)
- 情報面から外国人県民等の生活の安全と安心を確保するため、災害発生時に外国人被災者の手助けをする通訳ボランティアの確保・養成を行うほか、気象や地震等の情報を5言語(日本語・英語・中国語・韓国語・ポルトガル語)で提供する「災害時外国人サポート・ウェブ・システム」の運用を行っています。
- 日本語に不自由な外国人県民等のための日本語講座の開設を促し、外国人県民等の地域社会への適応力向上を図るため、市町村や国際交流協会職員等を対象にした研修会を開催しています。
[成果等] 研修会開催回数 3回予定
- 外国人県民等の家庭生活の質の向上を図るため、外国人県民やその家族等から寄せられる相談に6言語(日本語・英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語)で対応する「みやぎ外国人相談センター」の設置・運営を行っています。
- 外国人県民等の就労を支援し、外国人県民等の能力発揮を促進するため、「外国人のための就職手引書」の作成を行っています。

【認知度】 (県がこの取組を行っていたことについて、どのくらい知っているか)

<概要>

■ 県全体

「知っている」「ある程度知っている」を合わせた『高認知群』は16.3%、
「あまり知らない」「知らない」を合わせた『低認知群』は83.7%である。

■ 性別

男性の『高認知群』は18.7%で、県全体より2.4ポイント高い。
女性の『高認知群』は14.2%で、県全体より2.1ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『高認知群』は13.2%で、県全体より3.1ポイント低い。
65歳以上の『高認知群』は22.5%で、県全体より6.2ポイント高い。

■ 圏域別

各圏域の『高認知群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-26-1 取組26 認知度割合(属性別)

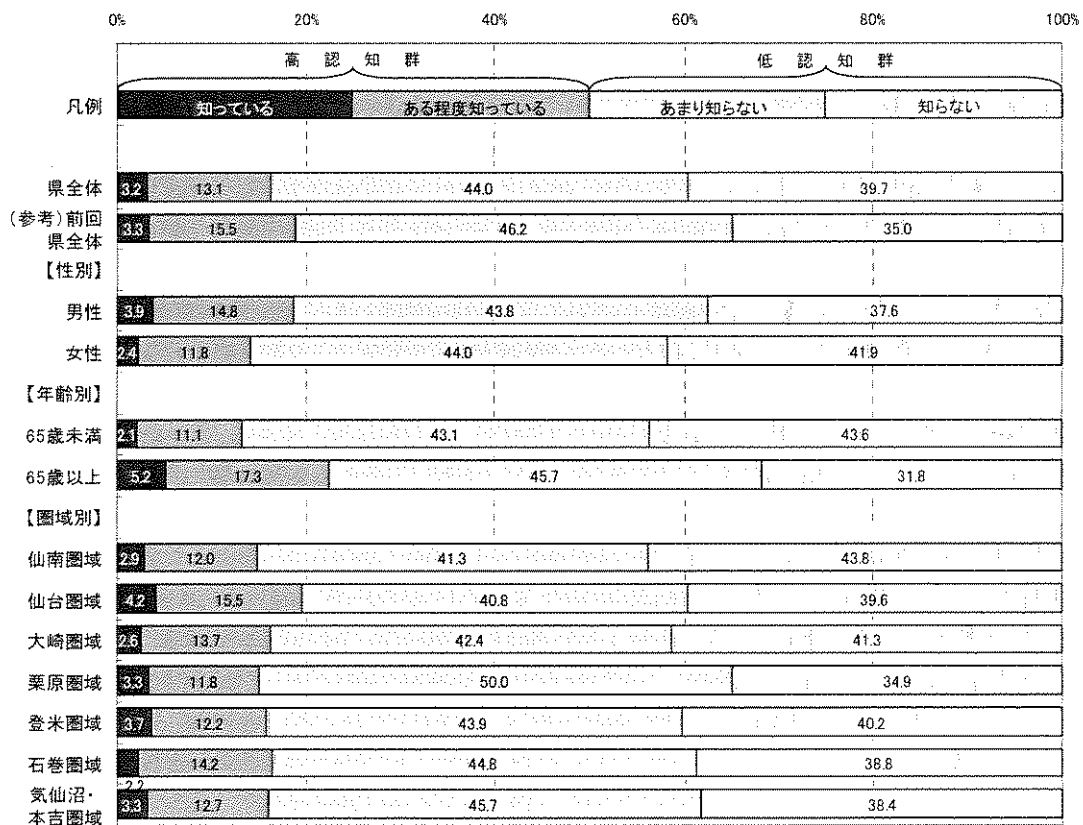


表2-2-26-1 取組26 認知度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 額	合 計
		知っている	ある程度 知っている	あまり 知らない	知らない			
県全体	度数	69	254	855	771	1,942	111	2,053
	パーセント	3.2	13.1	44.0	39.7	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	61	389	860	652	1,862	82	1,944
	パーセント	3.3	15.5	46.2	35.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	35	134	397	341	907	43	949
	パーセント	3.9	14.8	43.8	37.5	100.0		
女性	度数	23	115	430	409	977	54	1,031
	パーセント	2.4	11.8	44.0	41.9	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	27	140	541	548	1,266	41	1,297
	パーセント	2.1	11.1	43.1	43.6	100.0		
65歳以上	度数	32	107	282	197	619	54	673
	パーセント	5.2	17.3	45.7	31.8	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	7	29	109	105	242	8	250
	パーセント	2.9	12.0	41.3	43.8	100.0		
仙台圏域	度数	11	41	198	165	265	11	276
	パーセント	4.2	15.5	40.8	39.5	100.0		
大崎圏域	度数	7	37	115	112	271	16	287
	パーセント	2.6	13.7	42.4	41.3	100.0		
栗原圏域	度数	9	32	136	95	272	15	287
	パーセント	3.3	11.8	50.0	34.9	100.0		
登米圏域	度数	10	39	119	169	277	13	284
	パーセント	3.7	12.2	43.9	40.2	100.0		
石巻圏域	度数	6	36	120	104	266	11	279
	パーセント	2.2	14.2	44.8	38.8	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	8	31	112	94	245	11	256
	パーセント	3.3	12.7	45.7	38.4	100.0		

【関心度】 (県が行ってきたこの取組の内容について、どのくらい関心があるか)

<概要>

■県全体

「関心がある」「ある程度関心がある」を合わせた『高関心群』は35.8%、
「あまり関心がない」「関心がない」を合わせた『低関心群』は64.3%である。

■性別

男性の『高関心群』は41.0%で、県全体より5.2ポイント高い。
女性の『高関心群』は30.4%で、県全体より5.4ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高関心群』は33.0%で、県全体より2.8ポイント低い。
65歳以上の『高関心群』は40.8%で、県全体より5.0ポイント高い。

■圏域別

各圏域の『高関心群』は、県全体との差が5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-26-2 取組26 関心度割合(属性別)

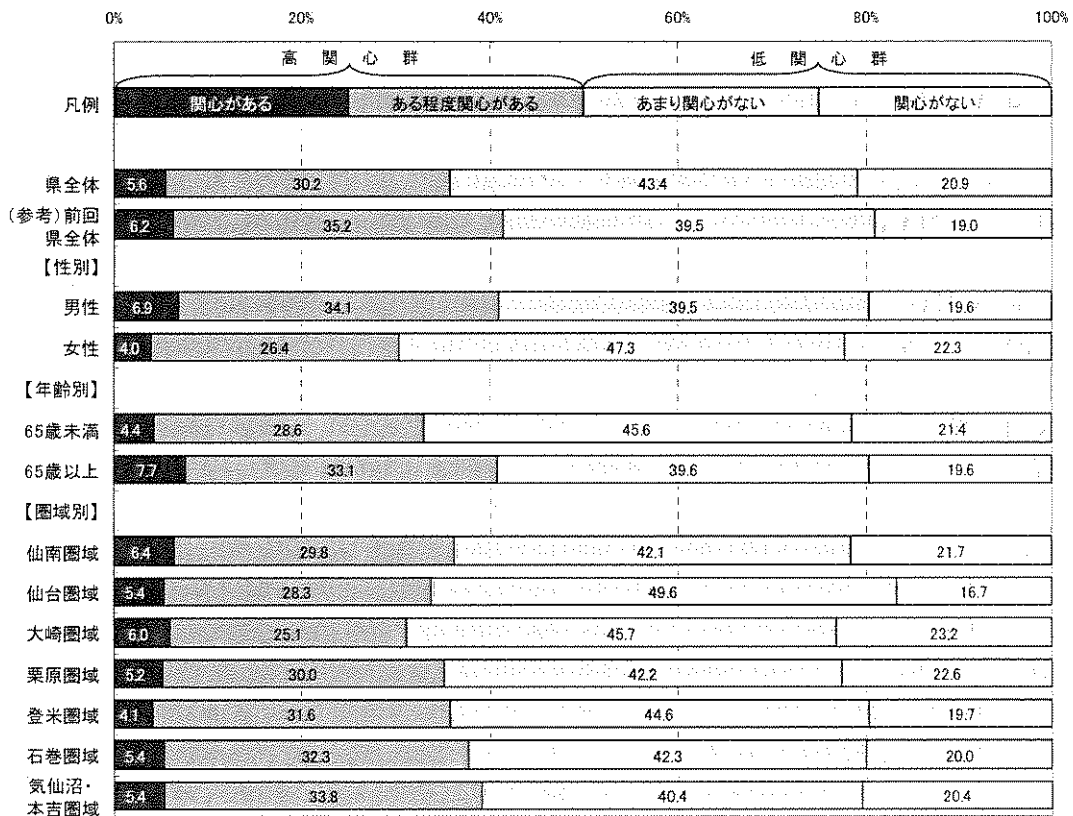


表2-2-26-2 取組26 関心度集計(属性別)

		有 効				合計	欠 損 数	合 計
		関心がある	ある程度 関心がある	あまり 関心がない	関心がない			
県全体	度数	106	576	827	398	1,907	146	2,053
	パーセント	5.6	30.2	43.4	20.9	100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	114	645	724	348	1,831	113	1,944
	パーセント	6.2	35.2	39.5	19.0	100.0		
【性別】								
男性	度数	61	303	351	174	889	60	949
	パーセント	6.9	34.1	39.5	19.6	100.0		
女性	度数	38	254	455	214	961	70	1,031
	パーセント	4.0	26.4	47.3	22.3	100.0		
【年齢別】								
65歳未満	度数	54	355	566	266	1,241	56	1,297
	パーセント	4.4	28.6	45.6	21.4	100.0		
65歳以上	度数	46	199	238	118	601	72	673
	パーセント	7.7	33.1	39.6	19.6	100.0		
【圏域別】								
仙南圏域	度数	15	70	99	51	235	15	250
	パーセント	6.4	29.8	42.1	21.7	100.0		
仙台圏域	度数	14	73	128	43	258	18	276
	パーセント	5.4	28.3	49.6	16.7	100.0		
大崎圏域	度数	16	67	122	62	267	20	287
	パーセント	6.0	25.1	45.7	23.2	100.0		
栗原圏域	度数	14	81	114	61	270	17	287
	パーセント	5.2	30.0	42.2	22.6	100.0		
登米圏域	度数	11	85	120	53	269	15	284
	パーセント	4.1	31.6	44.6	19.7	100.0		
石巻圏域	度数	14	84	110	52	260	19	279
	パーセント	5.4	32.3	42.3	20.0	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	13	81	97	49	240	16	256
	パーセント	5.4	33.8	40.4	20.4	100.0		

【重視度】 (県がこの取組を今後行っていくことが、どのくらい重要と考えるか)

<概要>

■県全体

「重要」「やや重要」を合わせた『高重視群』は40.3%、「あまり重要ではない」「重要ではない」を合わせた『低重視群』は28.4%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『高重視群』が58.7%、『低重視群』は41.3%となる。

■性別

男性の『高重視群』は45.5%で、県全体より5.2ポイント高い。

女性の『高重視群』は35.9%で、県全体より4.4ポイント低い。

■年齢別

65歳未満の『高重視群』は38.9%で、県全体より1.4ポイント低い。

65歳以上の『高重視群』は43.9%で、県全体より3.6ポイント高い。

■圏域別

仙南圏域の『高重視群』は45.8%で、県全体より5.5ポイント高い。

その他の圏域の『高重視群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-26-3 取組26 重視度割合(属性別)



表2-2-26-3 取組26 重視度集計(属性別)

		有効					合計	欠損値	合計
		重要	やや重要	あまり重要ではない	重要ではない	わからない			
県全体	度数	169	602	379	165	599	1,913	140	2,053
	パーセント	8.8	31.5	19.8	8.6	31.3	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	12.9	45.8	28.8	12.5		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	234	595	381	131	486	1,821	123	1,944
	パーセント	12.9	32.7	20.9	7.2	26.4	100.0		
【性別】									
男性	度数	96	312	184	70	235	897	52	949
	パーセント	10.7	34.8	20.5	7.8	26.2	100.0		
女性	度数	65	279	183	86	347	959	72	1,031
	パーセント	6.8	29.1	19.0	9.0	36.2	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	94	389	257	126	381	1,241	56	1,297
	パーセント	7.6	31.3	20.7	9.7	30.7	100.0		
65歳以上	度数	66	198	109	34	197	606	67	673
	パーセント	11.2	22.7	18.0	5.6	32.5	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	22	87	42	19	68	238	12	250
	パーセント	9.2	36.6	17.6	8.0	28.6	100.0		
仙台圏域	度数	23	94	55	24	73	259	17	276
	パーセント	8.9	32.4	21.2	9.3	28.2	100.0		
大崎圏域	度数	25	84	50	19	84	262	25	287
	パーセント	9.5	32.1	19.1	7.3	32.1	100.0		
栗原圏域	度数	29	75	67	34	87	272	15	287
	パーセント	10.7	27.6	24.6	5.1	32.0	100.0		
登米圏域	度数	20	87	48	26	91	272	12	284
	パーセント	7.4	32.0	17.6	9.6	33.5	100.0		
石巻圏域	度数	18	85	54	24	81	262	17	279
	パーセント	6.9	32.4	20.6	9.2	30.9	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	20	77	40	23	81	241	15	256
	パーセント	8.3	32.0	16.6	9.5	33.6	100.0		

【満足度】 (県が行ってきたこの取組について、どのくらい満足しているか)

< 概要 >

■ 県全体

「満足」「やや満足」を合わせた『満足群』は26.2%、「やや不満」「不満」を合わせた『不満群』は17.2%である。

なお、回答全体から「わからない」を除き集計した場合、『満足群』が60.4%、『不満群』は39.6%となる。

■ 性別

男性の『満足群』は30.0%で、県全体より3.8ポイント高い。

女性の『満足群』は23.2%で、県全体より3.0ポイント低い。

■ 年齢別

65歳未満の『満足群』は23.6%で、県全体より2.6ポイント低い。

65歳以上の『満足群』は32.5%で、県全体より6.3ポイント高い。

■ 圏域別

各圏域の『満足群』は、県全体との差が全て5.0ポイント以内に収まっている。

図2-2-26-4 取組26 満足度割合(属性別)

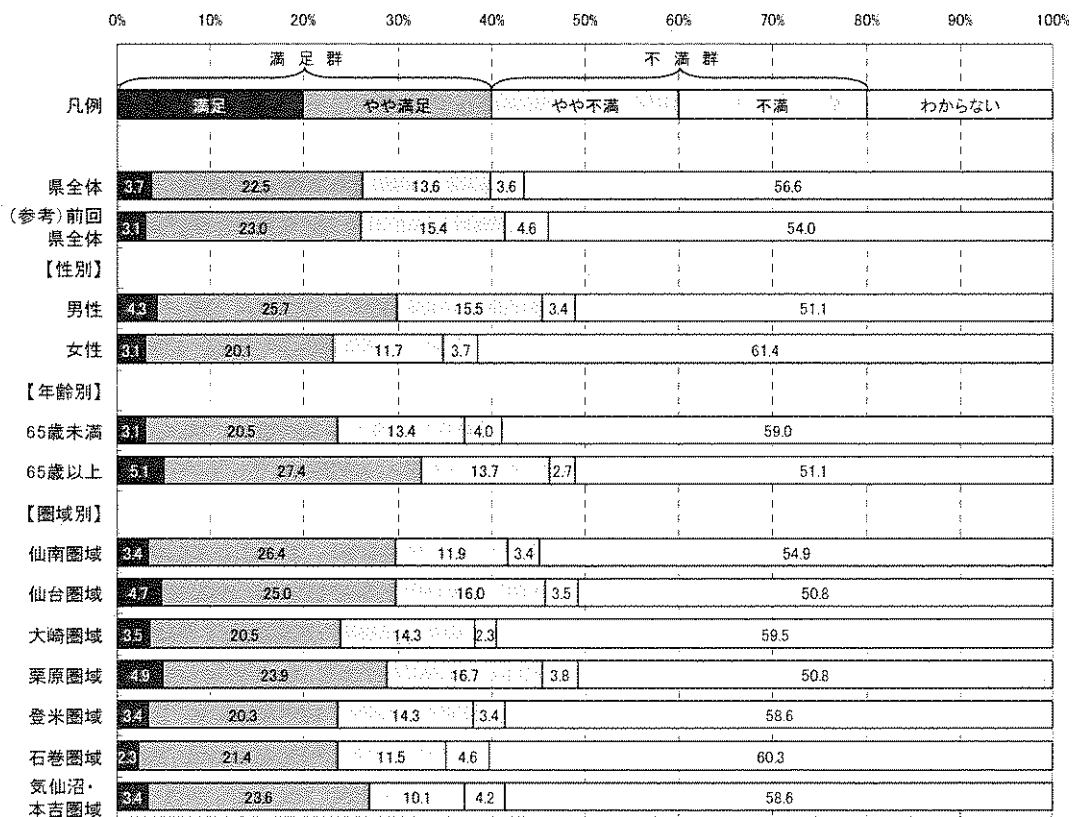


表2-2-26-4 取組26 満足度集計(属性別)

		有 効					合計	欠 損 値	合 計
		満足	やや満足	やや不満	不満	わからない			
県全体	度数	70	425	256	69	1,067	1,886	167	2,053
	パーセント	3.7	22.5	13.6	3.6	56.6	100.0		
	「わからない」を除くパーセント	8.5	51.9	31.3	8.3		100.0		
(参考) 前回 県全体	度数	55	414	278	82	973	1,802	142	1,944
	パーセント	3.1	23.0	15.4	4.6	54.9	100.0		
【性別】									
男性	度数	38	227	137	30	452	884	66	949
	パーセント	4.3	25.7	15.5	3.4	51.1	100.0		
女性	度数	29	190	119	35	560	944	87	1,031
	パーセント	3.1	20.1	11.7	3.7	61.1	100.0		
【年齢別】									
65歳未満	度数	38	252	165	49	724	1,228	69	1,297
	パーセント	3.1	20.5	13.4	4.0	59.6	100.0		
65歳以上	度数	30	162	81	16	362	591	82	673
	パーセント	5.1	27.4	13.7	2.7	51.1	100.0		
【圏域別】									
仙南圏域	度数	8	62	28	8	129	235	15	250
	パーセント	3.4	26.4	11.9	3.4	54.9	100.0		
仙台圏域	度数	12	64	41	9	130	256	20	276
	パーセント	4.7	25.0	16.0	3.5	50.8	100.0		
大崎圏域	度数	9	53	37	6	154	259	28	287
	パーセント	3.5	20.5	14.3	2.3	59.5	100.0		
栗原圏域	度数	13	63	44	10	134	264	23	287
	パーセント	4.9	23.9	16.7	3.8	50.8	100.0		
登米圏域	度数	9	54	38	9	156	266	18	284
	パーセント	3.4	20.3	14.3	3.4	58.6	100.0		
石巻圏域	度数	6	56	30	12	158	262	17	279
	パーセント	2.3	21.4	11.5	4.6	60.2	100.0		
気仙沼・本吉 圏域	度数	8	56	24	10	139	237	19	256
	パーセント	3.4	23.6	10.1	4.2	58.6	100.0		

【特に優先すべきと思う項目】

取組26に関し、目標とする宮城の姿を目指して、県が下記の項目の中で今後特に優先すべきと思う項目について調査した。(複数回答可)

- ア 多文化共生の基本理念の啓発等を通じた市町村や関係団体、県民との間での適切な役割分担と協働の推進
- イ 情報を多言語で発信したり、その家族を支援するなど、外国人の生活の安全・安心の確保や家庭生活の質の向上、県民としての自立と社会活動参加の促進
- ウ 友好地域をはじめとした海外との交流や県民・民間団体が主体的に国際交流活動や国際協力活動を行うことができる環境づくりの促進・支援
- エ 県内大学への留学生をはじめとする、高度な専門知識や技術力を持つ外国人の卒業後の県内企業や研究機関への就業促進

(参考:目標とする宮城の姿)

- 日本人と外国人が民族や文化の違いを認め合いながら、共に安心して暮らせる地域づくり、いわゆる「多文化共生社会」の形成が進んでいます。
- 県内で暮らす外国人への多言語による情報提供や日本語教室の拡充などの支援や、保健・医療・福祉、教育、労働など生活に欠かせない基礎的なサービスを提供する仕組みが整っています。
- 県内で暮らす外国人が地域との交流や地域づくりに積極的に参加しています。
- 芸術や教育、文化、経済など、さまざまな分野での国際交流活動が、県民や民間団体により行われています。
- 高度な知識・技術を持つ海外の人材が県内の企業や研究機関で活躍しています。

<概要>

■県全体及び属性別(性別・年齢別・圏域別)の優先順位第1位から第3位までは以下のとおり。

	◆県全体	■性別		■年齢別	
		男性	女性	65歳未満	65歳以上
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	イ
第2位:	イ	イ	イ	イ	ア
第3位:	ア	ア	ア	ア	ウ

	■圏域別						
	仙南	仙台	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
第1位:	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	ウ	イ
第2位:	イ	イ	ア	イ	イ	イ	ウ
第3位:	エ	エ	イ	エ	ア	ア	ア

※属性別の優先順位が県全体と異なる場合、項目記号を網掛けしている。

図2-2-26-5 取組26 特に優先すべきと思う項目回答数(県全体)

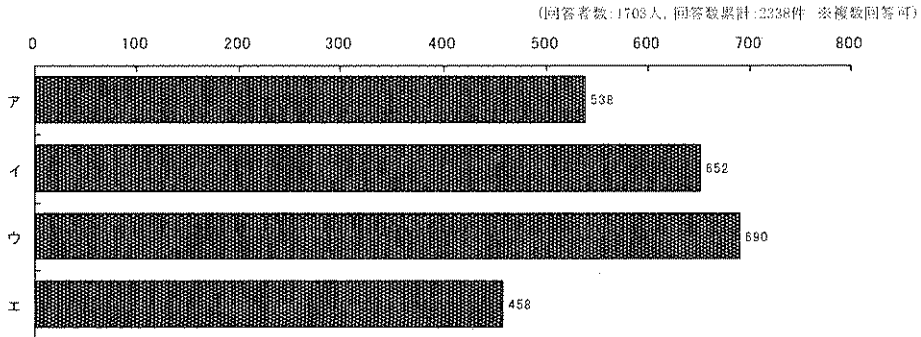
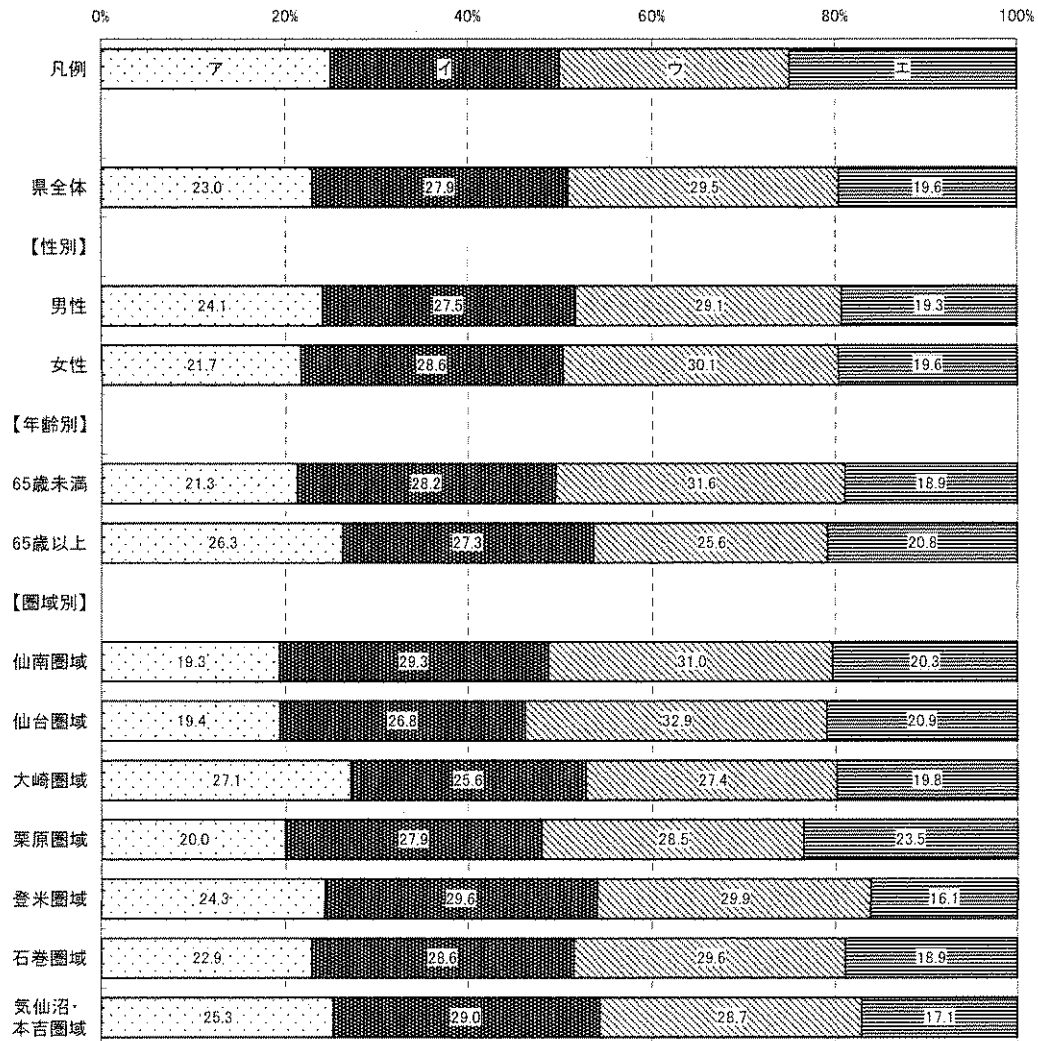


図2-2-26-6 取組26 特に優先すべきと思う項目割合(属性別)



※本図は、回答数累計に占める各項目の回答数の割合を属性別に示したものです。

